

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社大東銀行（証券コード: 8563）

【据置】

長期発行体格付 格付の見通し	BBB+ 安定的
-------------------	-------------

■格付事由

- 福島県郡山市に本店を置く資金量約8,100億円の第二地方銀行。資金量、貸出金残高とも県内シェア上位3行の一角を占めている。格付は、比較的高い収益力、保全が効いた貸出資産への評価などに支えられている。その他有価証券の含み損などを保守的に調整したコア資本比率は、BBBレンジの地域金融機関内での優位性が維持されている。
- コア業務純益（投資信託の解約損益を除く、以下同じ）は、経費の削減、貸出金利息の増加が牽引し19/3期を直近のボトムに大きく増加した。24/3期上半期のコア業務純益は、前年同期比27%減益となったが、ROA（コア業務純益ベース）は0.3%弱を確保した。減益の主因は有価証券利息の減収、役務取引等利益の減少であり、有価証券ポートフォリオの再構築に向けた取り組みなどをフォローしていく。一方、コロナ関連融資に積極的に取り組んだことに加え、福島県内外で住宅ローン残高を大きく伸ばしたことで、貸出金利息は堅調に推移している。コロナ関連融資の返済が進んでいるものの、住宅ローンの増強に向け拠点を拡大するなどの取り組みを進めている。当面貸出金利息が下支えとなり、コア業務純益は底堅く推移していくとJCRはみている。
- 23年9月末の金融再生法開示債権比率は3.65%と、地域銀行としては高い水準にある。コロナ禍を経て債務者区分の下方遷移が増加したことによるものだが、信用保証協会の保証などにより保全が図られている先が多く、分類率は低水準にある。資源価格の高騰などが与信先に与える影響には留意が必要であるが、小口分散が効いた貸出ポートフォリオなども背景に、与信費用は当面コア業務純益で十分に吸収可能な範囲内で推移するとみている。
- 保有債券にかかる金利リスク量は資本対比でみて小さくないが、国内外での市場金利上昇などを受け、債券のエクスポージャーを削減している。その他有価証券の評価差額は23年9月末で77億円の含み損となったが、含み損を抱えた外貨建債券や投資信託の処理を着実に進めてきている。
- 連結コア資本比率は23年9月末で9.96%。調整後で見ると、その他有価証券の含み損の増加などにより従前に比べ低下しているが、BBBレンジ内での優位性が維持されている。今後も貸出金残高の増加に伴いリスクアセットが拡大していく公算が大きいと見られるが、底堅いコア業務純益と抑制された与信費用を背景に内部留保が蓄積し、現状程度の資本水準は維持可能とJCRはみている。

（担当）加藤 厚・大石 剛

■格付対象

発行体：株式会社大東銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年12月25日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：加藤 厚
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2021年10月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社大東銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル